

10/28 第6回自治体政策研究会「総合区の可能性」が開かれました

10月28日(土)第6回自治体政策研究会と第4回自治フォーラムおおさか共催で、「総合区の可能性」を探りました。

この研究会、元大阪府議会議員の西脇くにお教授が主催者であることで毎回参加者が、濃くて重たいのでプレッシャーです。

今回は、元大阪府副知事で現在、大阪府社会福祉協議会小西会長も参加で盛り上がりました。

武さんの報告は、住民自治実現には4つの条件が必要と設定し、その視点から今回の総合区(案)を分析しました。

4つの条件は、

- ①都市内分権(自治体内分権)→決定できる権限、財源がより近いところにある
- ②声が届けられる仕組み→主体的に住民が参加・参画できる仕組みがある
- ③声を届けられる住民→参加・参画できる仕組みを主体的に使いこなせる住民がいる
- ④コーディネートする力量→住民の参加・参画をコーディネートすることができる役所や中間支援センター

こうした視点からの取り組み事例を実際に作っていき、現実の社会が変わるプロセスの経験をみなさんと積み上げることが住民自治だと考えています。引き続き積み上げていきます。

次回の自治フォーラムは、12月3日(土)14時～藤井博志教授と地域福祉について考えます。



いま、新しい公共を考える! Jichi Forum OSAKA 2017

ニュースレター no.3

発行 2017.10 自治フォーラムおおさか

『私たちの大阪のまち、これからどうしていく?』
「自治フォーラムおおさか」は、このむずかしくももしろいテーマを、みんなで考えていこう!という会です。

「自治」とかいとうとなんとなく堅苦しいし、自分ごとじゃない感じがしてしまうかもしれません。
でも、まちの仕組みや制度がどうなるかというのは、子育てのしやすさや、老後安心して暮らせるか、災害が起きたらどうするか、というような、私たち一人ひとりの暮らしと、実はすごく関係があります。

そこで、自治フォーラムおおさかでは、身近でとっつきやすく考えられる「日々の暮らしや地域生活」にまつわるテーマと、ちょっと難しいけどすごく大事な「制度や行政システム」をテーマにしたフォーラムを交互に開催しています。
どちらか一方でも、両方でも、ぜひご参加ください!

次回 地域福祉の視点で考える
介護・子育て、共生ケアの可能性
Vol.5

2017年**12月3日(日)**
14:00～16:30
エル・おおさか南館 南734会議室
(大阪市中央区北浜第3-14)

発行者 藤井博志 (関西学院大学人間福祉学部教授)

聞き手 武 直樹 (NPO法人いくの市民活動支援センター 代表理事)
村田 達 (社会福祉法人ライフサポート協会 理事兼)

参加費 500円 (資料代)

定員 60名 (要申込)

連絡先 NPO法人いくの市民活動支援センター
住所: 大阪生野区小路東1-16-27
MAIL: lg_forum.osaka@gmail.com
TEL: 06-6741-9643
FAX: 06-6563-1159 (申込専用)

申込方法 WEB・FAXのどちらかで申し込みください。
・WEBの方は <https://formos.biz/f/422604de/> に必要事項を記載のうえ送信ください。
・FAXの方は【第5回自治フォーラム申込】と記載の上、③氏名と連絡先(電話番号)をお伝えください。
※会場への参加も、事前申込にご協力ください。